

県外派遣報告書

審判員名(報告者)	村上 翔	所 属	U12 カテゴリー
大会名	第54回関東中学校バスケットボール大会		
期 間	2024年 8月 7日 ~ 9日		
会 場	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)		
ス ケ ジ ュ ー ル			
期 日	内 容	場 所	
8月 5日	審判会議、研修会	ZOOM 会議 参加者自宅他	
8月 7日	大会1日目 1回戦	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
8月 8日	大会2日目 2回戦、準々決勝	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
8月 9日	大会3日目 準決勝、決勝	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
審判会議、研修会 講義内容			
<p>▶レクチャー</p> <p>○六角 亜沙美 氏</p> <p>・リードのローテーションについて</p> <p>→何を見たいのかを体と顔の向きで示す。</p> <p>→リードの位置をディフェンスのラインに合わせる。</p> <p>→U15 カテゴリーでは、1対1が多いからこそ、クローズダウンポジションに長く止まらずにルーズして捉えることも必要である。</p> <p>・タイムマネジメントについて</p> <p>→タイマーの時間を声に出して確認する。</p> <p>→ショットクロックが20秒の時のタイマーを把握することで、マジックタイムが把握しやすい。</p> <p>→フリースローの時は、必ずタイマーを把握しておく。</p> <p>○岸 由貴 氏</p> <p>・コミュニケーションについて</p> <p>→短く簡潔に、競技規則やガイドラインに則した言葉を使ってコミュニケーションを取る。</p> <p>→選手の表情をよく見て、話したがっている選手を把握する。</p> <p>→直接話すだけでなく、キャプテンや試合全体を見ている選手を介して伝えることもできる。</p> <p>→否定的な表現を避ける。</p> <p>・POCを正しく把握するために</p> <p>→POCを正しく把握することで、説得力のある判定に繋げることができる。</p> <p>→集中しすぎたことによる気持ちの高ぶりから、反射的に判定することを注意する。</p> <p>・強みや課題を明確にするために</p> <p>→他者からの客観的な気づきを大切にすることが重要である。</p> <p>→自分のこだわりを大切にしながらも、こだわりは傲慢さにもなるので注意する。</p> <p>→良かった点を大切にす。</p>			

○渡邊 諭 氏

・メンタルの保ち方、信頼される審判になるために

→正しい判定と真摯で謙虚な姿勢が大切である。

→ルールを覚えるだけでなく、ルールを理解し、バスケットボールを理解することが必要である。

→正しい判定を増やすということは、曖昧なものをなくすということであり、足を運んで見て、判定の根拠や裏付けを持つことで重要となる。その結果、ブレない判定となり、メンタルを保つことへも繋がる。

・ヘルプディフェンスについて

→ヘルプディフェンスを気にしすぎて、広がりすぎている人がいる。今見るべき優先順位を考え、ボールマンと次の選手を把握することで、何が起きようとしているかを把握することで良い位置に動くことができる。

担当試合①

期 日	8月8日(木) 2回戦
対戦カード	銚子市立第一中学校(千葉) vs 横浜市立豊田中学校(神奈川)
ク ル ー	CC:阿久沢 尚夫 氏(群馬) U2:木村 勇 氏(茨城)
ミーティング内容	審判主任:安藤 俊明 氏(千葉)

▶ミーティング

PGCの中で、ローテーション等で積極的にアイコンタクトを取りながら、進めていこうと共有した。試合中、判定した後やリードがローテーションを開始する際にクルー間でアイコンタクトを取ることで、スムーズに進めることに繋がった。

試合展開の中で、キープレイヤーを共有しながら進めた。しかし、意識することでファウルコールも多くなってしまい、個人的には細くなりすぎないように見極めが課題となった。また、試合終盤の接戦の場面では、決断が必要な場面でより力強く判定に参加したいと感じた。

担当試合②

期 日	8月8日(木) 準々決勝
対戦カード	新島学園中学校(群馬) vs 市原市立ちはら台南中学校(千葉)
ク ル ー	CC:加藤 暁生 氏(東京) U2:倉持 雄一 氏(栃木)
ミーティング内容	審判主任:山崎 敬次郎 氏(千葉)

▶ミーティング

PGCの中で、試合中に感じたことを常に共有しながら進めていこうと話があった。

試合の序盤でローテーションについて、クルー間でタイミングを確認しながら進めることで、共通認識を持つことができ、判定につながった。また、他にも気になる事象や接触についても丁寧に共有することで、共通認識を持って試合を進めることができた。

チームにとって2試合目ということもあり、選手に疲労が溜まっている中で、丁寧に選手やベンチとコミュニケーションをとることで結果的に円滑に試合を進めることに繋がった。

全体の感想

はじめに、今大会の開催にご尽力いただきました千葉県協会の皆様、派遣していただきました埼玉県協会の皆様に感謝申し上げます。

大会へ参加させていただき、クルーで共通認識を持つことの大切さ、判定を見極めることが課題であることを感じました。試合中に気になることをクルーと丁寧に共有したり、アイコンタクトをとったりすることで円滑に試合を進めることにつながることを改めて感じました。また、ゲームフローを感じて、判定を見極めて表現することが大切だと感じました。

今回の経験を今後の活動に生かしていくと共に、還元できるよう精進して参ります。